

「知事と子育て世代の女性職員との座談会」の開催について

1. 目的

道では、女性職員の退職までのキャリア形成に関する意識を高めるため、ロールモデルとなる職員の体験談や取組等を紹介する「道職員活躍事例集（女性編）」を作成しているところであり、その一環として、知事と子育て世代の女性職員において意見交換を行い、その概要を周知することによって、職員のモチベーションの向上や道政に対する道民の理解、さらには新規採用希望者の確保につなげようとするもの。

2. 開催状況

(1) 日時 平成26年11月25日（火） 15:30～16:30

(2) 場所 本庁舎3階 知事応接室

(3) 出席者

高橋知事、的井総務部長、佐藤人事局長、人事課職員
子育て世代の女性職員 6名

| | |
|----------------------|--------|
| 総務部人事局人事課主査 | 千葉 拓子 |
| 総合政策部地域づくり支援局地域政策課主査 | 竹本 優佳子 |
| 総合政策部地域行政局統計課主査 | 中里 文美 |
| 水産林務部林務局林業木材課主幹 | 濱田 智子 |
| 建設部建築局建築指導課主査 | 田村 佳愛 |
| 石狩振興局保健環境部社会福祉課主査 | 松本 香織 |

(4) 主な意見

- 妊娠中や子育て中の職員は、周囲への配慮から、育児に関連する休暇等の制度を利用しにくい実態にあるので、職場の意識改革が必要。
- 北海道は非常に広域なので、転勤の際に育児状況等に配慮しないと女性職員は誰も子どもを持たなくなってしまう。
- 庁内に保育所があっても、本庁だと通勤が大変であり、車で通勤できる配慮が必要である。もっと幅広く女性職員の意見を聴く必要がある。
- 育児の状況や段階によって女性職員の悩みは様々であり、こうした状況に対応できるような、女性職員の相談窓口が必要ではないか。

3. 参考

「道職員活躍事例集（女性編）」について

| | | |
|-----|--------------|----------------------|
| 第1号 | H26.12.19 発行 | 「仕事も子育ても頑張ってます」 |
| 第2号 | H27.1.13 発行 | 「私たち、地域で頑張ってます」 |
| 第3号 | H27.1月下旬発行 | 「知事と子育て世代の女性職員との座談会」 |

※道のホームページ及びイントラネットに掲載し、情報発信